

将来のまちの姿のイメージ

資料6「中野駅周辺まちづくりランドデザイン Ver.3の策定について」のP9～12の将来像をより具体的にイメージしたものです。

将来像1. 最先端の業務拠点 (資料6 P9参照)

中野駅周辺の再開発や既存建築物の用途転用・建替えによって、**業務や商業床の面積が増加し**、多くの集客交流を生み出す業務拠点となっている。

強固な地盤に耐震性能の高い建物と周囲から逃げ込める公共空地が整備されるとともに、さまざまな規模のイベントに対応できるホールや広場空間、**起業支援機関などのビジネスサポート機能が充実し**、駅周辺のビジネス環境の魅力が向上している。

公園や広場などの憩い空間、飲食や買い物に便利なバラエティ豊かな商業集積、自己のスキルアップのための大学や文化施設など、**中野ならではのオフィス周辺環境が充実し**、オフィスワーカーのワークライフ満足度が高まっている。

幅広い世代・国籍の人が快適に働ける**ユニバーサルデザイン**の環境整備、まちぐるみで取り組む**環境負荷の軽減**に加え、新たな価値を生み出す産学公連携やタウンマネジメント組織による**地域経営の取り組み**により、これからの時代も持続可能でありつづける中野駅周辺となっている。

将来像2. 高度な情報の集積・交流・発信空間 (資料6 P10参照)

充実した**コンベンション・料飲・宿泊機能**を人的・知的交流の場として、**産業、大学・研究施設、行政間の連携**により、内外の様々な情報や技術が行き交い、「知」の集積によって新たな価値を生み出す空間となっている。

各所に配置された情報端末機器や情報インフラの整備によって、**地域の情報を積極的に発信**することで、**まちの情報発信力**が高まっている。

情報通信技術の活用により、健診情報や診療情報などの健康・医療サービス、高齢者や障害者の雇用・就業を容易にする**業務支援システム**、行政サービス等の**生活関連サービスの質**が向上している。

教育・研究開発・情報・出版印刷・通信放送などの**知識産業の集積**や**知的財産の創出・保護・活用支援**により、**中野発の知識産業**がグローバルに展開されている。

将来像3. 個性豊かな文化発信拠点 (資料6 P11参照)

アニメ・マンガ・演劇・お笑い・音楽・ダンスなどの**多様な表現・文化活動**や**コンテンツ産業の人材輩出機関の集積**とネットワークの拡大により、「クール」な**ヒト・モノ・アート・カルチャー**の集積・発信拠点となっている。

練習や発表の場として使える**公共空間**、用途や規模に応じて設備配置を自在に変えられる**ホール・アリーナ**、既存建築物の修復・転用による味のある発表の場など、様々な表現活動の場が提供されている。

クールジャパン戦略と連動した**地域ブランド「クールナカノ」**を通じて、派生商品開発支援、地域活性化イベント・キャンペーンが展開され、「クールナカノ」でにぎわうまちとなっている。

国際観光都市「ナカノ」として、観光資源の継続的掘り起こしや開発、個性的なイベントの誘致・創出により、**国内外から多くの来街者が訪れ**、インフォメーション機能や公共サイン・駐車場等の観光受け入れ体制も充実している。

将来像4. 最高レベルの生活空間 (資料6 P12参照)

産学公連携により、それぞれの持つ**知識や人材**を活かして、小中学校教育から生涯教育、企業での人材育成に至るまで、**国際性豊かな人材の育成**が幅広く行われている。

職住近接による自らの時間を多く持てる生活の実現や子どもの保育・親の介護等の**家族支援サービス**の確実な提供により、社会貢献ビジネスや地域のコミュニティ活動も含めた**多様な働き方が可能**となり、どのライフステージにあっても働くことができるまちとなっている。

高品質な住宅の供給や充実した商業集積と消費者サポート機能に加え、ユニバーサルデザインにより**安全・快適に移動**できる歩行経路や移動交通手段の確保により、いつまでも住み続けたいくなる住環境が整っている。

散策に気持ち良い**オープンスペース**や回遊性のある**歩行者動線**が日々のウォーキングルートとなり、健康器具のある公園では健康づくりと来園者同士の交流が行われるなど、日々のまち歩きで**健康の維持・増進**が図られている。